

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立此花スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	明治スポーツ・セントラルスポーツグループ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		83.7%
達成率		104.6%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.9%	96.0%	2.9%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	81.6%	91.6%	-10.0%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	62.7%	71.9%	-9.2%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	20,970,921	18,876,960	3,033,321	精算金による
	計画	17,937,600	17,937,600		
利用料金収入	実績	5,865,550	5,588,370	-1,617,250	コロナ対策緩和により施設利用枠が回復傾向となりました
	計画	7,482,800	7,482,800		
その他収入 (自主事業収入)	実績	8,661,073	3,661,812	-4,338,927	コロナ対策緩和により教室受講者が増加しました
	計画	13,000,000	13,000,000		
合計	実績	35,497,544	28,127,142	-2,922,856	
	計画	38,420,400	38,420,400		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	12,621,197	10,122,990	-3,793,203	利用枠増加、教室受講者増加により人件費が増加しました
	計画	16,414,400	16,414,400		
物件費	実績	15,277,578	15,837,711	-1,673,422	水光熱費の節約施策や消耗品等の管理強化により減少しました
	計画	16,951,000	16,951,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	7,598,769	3,532,740	2,543,769	教室開催枠拡大、受講生増加により委託費用が増加しました
	計画	5,055,000	5,055,000		
合計	実績	35,497,544	29,493,441	-2,922,856	
	計画	38,420,400	38,420,400		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	104.6%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 水道光熱費削減の取り組み(空調温度の設定を一定に保ち急激な負荷がかからない様に、照明設備も利用に合わせてこまめに入り切り) 館内整備や備品修理等スタッフによる改修や改善 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> 施設内で特に良いと感じられたところ <ul style="list-style-type: none"> →スタッフに気さくに声をかけてもらえる。 施設内で改善すべきところ <ul style="list-style-type: none"> →エレベーター設備がないため2F以上は身体的に上がるのが困難。（更衣室・多目的室） →洋式トイレの設置が少ない。和式トイレは年配者や子どもが使用しづらい為対応願います。 →駐車場の数が少なく不便を感じる。

6 外部専門家意見

<p>コロナ禍の終息に伴い、利用料金収入・事業収入ともに回復傾向である。体育館の利用率も、ほぼ回復と言える。第2体育場・多目的室の利用率は昨年度にも指摘しているが、令和4年度はさらに稼働率が減少している。具体的な改善策を期待したい。</p> <p>自主事業の縮小により経費削減しているが、コロナ明けには自主事業の拡大が必須であるため経費削減も工夫されたい。</p> <p>利用増に伴い人件費は前年比で上昇しているものの、計画内に抑える等支出削減に取り組んでいる点は評価できる。また、SNSの活用などで広告経費の削減ができていた点も評価できる。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設定目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立都島屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	明治スポーツ・セントラルスポーツグループ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		97.7%
達成率		122.1%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		100.0%
達成率		125.00%

2 管理運営の成果・実績（アイスクレード）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	76,908	76,095	813
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	19,782	15,436	4,346
稼働率			

利用状況（アイスクレード）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

令和4年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	58,116,047	49,953,574	11,692,047	新型コロナウイルス感染症の影響に対する補填金が含まれているためです。
	計画	46,424,000	47,124,000		
利用料金収入	実績	26,284,430	20,233,975	-14,815,570	コロナ禍で利用者様の来館控えが影響し、加えて5ヶ月間の外壁工事による駐輪場の台数制限と駐車場利用不可も来者数に影響したと思われますが、ジムのアイテムを増やす等の効果があり前年比では大きく増加しました。
	計画	41,100,000	40,280,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	32,984,827	25,940,091	1,544,827	スイミングスクールのキャンセル待ちが出ないよう指導員を増やしました。またスタジオでは新しいプログラムを導入し、新規参加者を開拓しました。利用者様の利便性向上のため近隣にはない水泳、運動用品の販売会を開催しました。
	計画	31,440,000	30,940,000		
合計	実績	117,385,304	96,127,640	-1,578,696	
	計画	118,964,000	118,344,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	44,502,854	35,688,085	-10,677,146	スタッフの教育、育成による社員比率の変更で削減しております。
	計画	55,180,000	55,180,000		
物件費	実績	70,447,216	54,045,460	12,293,216	水道光熱費の高騰を使用量の調節で補えませんでした。
	計画	58,154,000	58,154,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	2,435,234	1,831,443	-3,194,766	教室指導の外注比率を削減し自社スタッフでの実施を増やしました。コロナの影響で教室の在籍者数が抑えられたため、指導員も抑制されました。
	計画	5,630,000	5,630,000		
合計	実績	117,385,304	91,564,988	-1,578,696	
	計画	118,964,000	118,964,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	122.1%	S	
利用者満足度（トレ）	125.0%	S	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
温水ヒーター、空調機の発停時間を調整 ・シャワーの水量調整 ・マッサージプール等オーバーフロー排水の抑制 ・夏季のプール空調ファンの運転を節減。 ・プールろ過器の逆洗を定期ではなく水質透明度とろ過機の圧力を精査	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・2階多目的ルームが汚れていて利用しづらい → 錆落とし、再塗装、すのこ設置、時計新調し快適にご利用いただけるよう改善いたしました。

・コロナ禍にも関わらずトレーニングルームが大声で話している利用者を注意してほしい → 周りに留意して会話していただくようご案内しました。

・アクア教室実施時の音量が大きいの → BGMの音量、インストラクターのマイク音量を段階的に下げ、参加者外のご利用者様が不快に感じないレベルに調整しました。

6 外部専門家意見

プール・トレーニング室ともに非常に高い満足度である。特にトレーニング室は満足度100%であり、機器の増設や新設の教室事業などの工夫が結果につながっていると考えられる。

コロナの回復基調ではあるが、外壁改修の影響もあり昨年度からの利用者数の増加率は鈍いが、自主事業の会員数は増えているので、来年度以降の回復を期待している。

収支に関してはアルバイトの教育などで社員数を減らし人件費を削減や保守点検費の削減など、支出項目が大きい部分の削減に努めている点は評価できる。

教室のベテラン指導員の増員やアルバイトの満足度の向上など、スタッフの充実がサービス向上につながり、満足度の上昇にもつながっている好循環が見受けられることは非常に評価できる。

グループ全体として、ニーズを的確にとらえてアプローチできている点は素晴らしい。

来年度は満足度のみならず、利用者数も増加するよう努められたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立中央屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	明治スポーツ・セントラルグループ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		91.2%
達成率		114.0%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.6%
達成率		113.3%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	62,781	47,652	15,129
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	15,610	14,434	1,176
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

令和4年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異 (実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	66,726,421	66,178,095	3,372,421	新型コロナウイルス感染症の影響に対する営業補填を含む為です。
	計画	63,354,000	63,354,000		
利用料金収入	実績	27,696,200	21,601,550	-12,803,800	コロナで利用者様の来館控えに加え、冬季の外気温が低かった日が続いたことも影響し、来館者数が伸びず目標数値の未達成になったと思われます。前年比では来館者数は順調に増加しました。特に夕方以降の時間帯に若年層の利用が増えました。
	計画	40,500,000	40,500,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	29,033,559	22,198,966	-2,066,441	前年比では順調に会員数は増加していますが目標数値には未達成となりました。1日体験会を複数開催したことや実施枠を増やしたことで、スクール会員数は順調に伸びており、前年比では売上増となりました。
	計画	31,100,000	31,100,000		
合計	実績	123,456,180	109,978,611	-11,497,820	
	計画	134,954,000	134,954,000		

支出		当年度	前年度	差異 (実績-計画)	主な要因
人件費	実績	46,770,270	41,515,565	-17,913,730	職員の人材育成により社員比率の変更で削減しております。前年比では教室枠を増加した影響に加え、館内美化を維持するため自社職員による清掃時間を増やしたことで増額しました。
	計画	64,684,000	64,684,000		
物件費	実績	73,094,717	58,210,751	1,015,717	設備不具合が多く発生した影響により修繕費の大幅な増額や冬季のガス使用量が増加し光熱水費が前年比を大幅に増額しましたが、グループのスケールメリットを活かした業者選定により、その他の項目で削減ができました。
	計画	72,079,000	71,978,960		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	3,591,193	2,874,350	-2,808,807	教室の実施枠を増やしたことで目標数値を増額しましたが、教室指導の外注比率を削減し、自社職員で実施した影響により業務委託契約者比率が下がりが前年比では減額しました。
	計画	6,400,000	6,400,000		
合計	実績	123,456,180	102,600,666	-19,706,820	
	計画	143,163,000	143,062,960		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	114.0%	A	
利用者満足度（トレ）	113.3%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・プールオーバーフロー排水の抑制 ・ボイラー及びコージェネレーションの使用時間調整を実施しました。 ・照明時間の調整（時間短縮） ・館内空調の温度調整および運転時間調整 ・スタッフ控室の空調運転停止を実施 ・冬場にプールサイド窓に断熱材 	A	人件費及びその他事業費が計画より下回っており、さらに光熱水費高騰の影響も低く抑えられている点が評価できる

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・新型コロナウイルス対策として換気の徹底を図りました。
- ・安心、安全にご利用頂ける様に館内消毒の徹底を実施しました。
- ・プール内のタイル破損部分を張替えました。
- ・プール内のトイレスリッパを新しく取替えました。
- ・自社スタッフによる施設周辺の雑草等の剪定を実施しました。
- ・屋上の雑草除去および排水溝周辺の異物除去を実施しました。
- ・2階女性更衣室の排水溝を特殊洗浄を行って詰りや異臭を解除しました。

6 外部専門家意見

利用者満足度はプール・トレーニング室ともに目標を達成している。自主事業も会議室を活用した事業の展開や、日曜の水泳教室の増設などウェイティング対策や新規顧客獲得の努力だけでなく、スポーツ教室の強化練習など既存の教室参加者に向けたアプローチを充実し多方向に営業努力をしている姿勢が評価できる。結果として前年度の課題の解決にもつながっている。スクール参加者等が当該施設に愛着を持てるような環境になっていくことも期待している。

接遇に関しては、障がい者手帳の取扱いなど、全スタッフへに重要性を周知されたい。スタッフ教育については例年の課題になっているので、教育を徹底されたい。社員比率の見直し等により人件費削減につなげている点は評価できる。

また、プール内の温度管理に工夫はみられるものの、快適な環境を提供できるようさらなる努力をされたい。光熱費高騰の影響はあるものの、支出の削減に取り組んでいることも評価できる。次年度も期待している。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	A	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	
総合評価	B	